

サプライチェーン強靱化におけるデータ連携の仕組みに関するガイドライン0.1版（車載半導体 関連） 附属書A：用語一覧

No.	用語	説明	出典	URL
1	BCP	Business Continuity Planの略語。 災害等の有事でも重要業務を継続・早期復旧するための計画を指す。	-	-
2	CFP	Carbon Footprint of Products の略語。 製品やサービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出されるGHGの排出量をCO2排出量に換算し、製品に表示された数値もしくはその仕組み。製品・部品のCFP値もCFPと表記する。	経済産業省、環境省	https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/carbon_footprint/pdf/20230526_3.pdf
3	EOL	End of Lifeの略語。 製品の供給・サポートが終了する段階を指す。	-	-
4	LCA	Life Cycle Assessmentの略語。製品のライフサイクルにわたって、資源、エネルギー等の投入量から、製品システムにおける大気汚染物質、水質汚濁物質、固形廃棄物等の環境負荷物質の排出量・吸収量の合計を算定し、影響を評価する手法。	環境省	https://www.env.go.jp/content/900447572.pdf
5	LTB	Last Time Buyの略語。 生産終了後に設けられる最終発注期限を指す。	-	-
6	LTS	Last Time Shipmentの略語。 最終出荷時期を指す。	-	-
7	ODS	Open Data Spacesの略語。	Open Data Spaces	https://www.ipa.go.jp/digital/opendataspaces/
8	ODS-RAM	Open Data Spacesにおけるリファレンスアーキテクチャモデル。RAMはReference Architecture Modelの略語。経済産業省・情報処理推進機構からウラノス・エコシステム・データベース リファレンスアーキテクチャモデル ホワイトペーパー(ODS-RAM V1)として、ホワイトペーパーが公開されている。	Open Data Spaces	https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/reports/ouranos-ecosystem-dataspaces-ram-white-paper.html https://www.ipa.go.jp/digital/opendataspaces/
9	OEM	Original Equipment Manufacturerの略語。 自動車を製造している事業者（完成車メーカー）を指す。	-	-
10	Open Data Spaces	国や組織ごとの多様性を尊重する、オープンでスケール可能な分散データマネジメントの技術コンセプトを指す。	Open Data Spaces	https://www.ipa.go.jp/digital/opendataspaces/
11	PCN	Product Change Notificationの略語。 製品変更に関する公式通知を指す。	-	-
12	QCD	Quality・Cost・Deliveryの略語。 品質・コスト・納期を指す。	-	-
13	RFQ	Request for Quotationの略語。 確定した要求仕様を前提に見積（価格・納期・条件）を依頼する手続・文書を指す。	-	-
14	SOP	Start of Productionの略語。 量産開始時点を指す。	-	-
15	アーキテクチャ	システムが存在する環境の中での、システムの基本的な概念又は性質であって、その構成要素、相互関係、並びに設計及び発展を導く原則として具体化したもの。	JISX0170:2020	-
16	アプリ	アプリケーションの略。	-	-
17	アプリケーション	ユーザ企業が、データベースを利用した取引先等の参加者とデータを連携するために開発されたソフトウェアプログラム。	-	-
18	ウラノス・エコシステム	経済産業省が推進する産業イニシアティブ。ウラノス・エコシステムの趣旨は、異なる事業者間で行われる、データに関するコントロール可能性及び参加者が使用するサービスの多様性が担保された、オープンなデータベースを介したデータ連携である。	経済産業省	https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/ouranos.html
19	川上（企業）	サプライチェーンにおいて、該当企業から見て相対的に原材料生産側に位置している事業者。	-	-
20	川下（企業）	サプライチェーンにおいて、該当企業から見て相対的に消費者側に位置している事業者。	-	-
21	供給性	供給継続性（Supply Continuity）を指す。 所要期間中に必要数量を継続して供給できる見通し（能力・計画）を指す。	-	-
22	共通識別子	データベースにおいて共通的に扱う事業者識別子・事業所識別子、トレース識別子等の各識別子。	-	-
23	共通データモデル	データベースにおいてデータ連携を行うためにやり取りするデータ項目群とその項目が許容するデータ型や制約等を定義したモデル群。	-	-
24	公益デジタルプラットフォーム運営事業者	公益デジタルプラットフォーム運営事業者認定制度によって認定を受けた事業者。DX認定制度の認定基準に加え、①データ連携システムの運用及び管理②安全性・信頼性の確保③相互運用性の確保④事業安定性の確保、の4つの基準を満たしていることと認定されて、公益性が高いと認められる。	IPA	https://www.ipa.go.jp/digital/dx/dpf-nintei.html
25	参加者	データベース運営事業者と基盤契約を締結した事業者。	-	-
26	仕入先	製品の製造に必要な商品を購入する相手。つまり、完成した製品や材料・部品等を仕入れる相手方が、仕入先となる。蓄電池のサプライチェーンであれば、材料メカ、原材料メカ、部品メカ等を指す。	-	-
27	データ主権	データ利用の許諾に際して適用されるべき保存・利用条件等に関する自己決定。なお、データ主権の定義に関する国際的・標準的な合意はまだ存在していないことに注意のこと。	ODS-RAM	https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/Individual-link/h5f8pg0000030k0k-att/ouranos-ecosystem-dataspaces-ram-white-paper.pdf
28	データベース	デジタル社会で不可欠なデータに注目した概念で、異なる組織・国間（エコシステム）でも、信頼性を確保しデータを共有できる標準化された仕組みである。データベースでは、「多種多様」で「信頼性のある」大量のデータを利用することができる。	IPA	https://www.ipa.go.jp/digital/data/jod03a000000a0uaa-att/glossary.xlsx
29	データ利用者	データベース内でデータの利用を許可された参加者。	-	-
30	データ連携基盤	複数のデータ連携システムや各種アプリケーション、運用ルール、認証等を含めたサプライチェーン上の企業間でデータを連携するための基盤。競争・協調領域を含めたシステム全体。	-	-
31	トラスト	ユーザあるいは他のステークホルダーがそのシステムや製品が想定する通りに振る舞うということを信用する度合い。	ISO/IEC 25010:2011	-
32	トレーサビリティ	トレーサビリティ管理システムにおいて、「データを連携する事業者間の取引関係」と「取引される製品の対応関係」を追跡可能にすること。	-	-
33	トレーサビリティ管理システム	最終製品を起点とするサプライチェーンのトレーサビリティを確保するためのシステム。	-	-
34	トレース識別子	製品に対してトレースを取るためにトレーサビリティ管理システムで利用する一意に製品を特定可能な識別子。トレース識別子同士を紐付けることで、「製品と調達部品の構成関係」及び「事業者間の取引関係」を記録し、サプライチェーンの追跡を可能にする。	-	-
35	トレードシークレット	営業秘密そのもの及び、その秘密性を関係者間で適切な契約や技術的措置等を施すことにより維持するための手段も包含する概念。	-	-
36	納品先	商品を販売し納入する相手。自社から見て隣接する川下企業が該当する。	-	-
37	モデル規約	経済産業省が公開しているサプライチェーン上のデータの共同利用・利活用を、安全で信頼できる形で実現するために、データ連携基盤運営事業者と利用ユーザー間で結ぶべき規約の例を示したドキュメント。	経済産業省	https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/moderukiyakukaisetu.pdf